



銀座の言語景観調査

日本大学文理学部国文学科
基礎演習2

はじめに

恒常的掲示物からみた銀座

>> 看板の調査

>> フロアガイドの調査

臨時的掲示物からみた銀座

銀座・有楽町地区
デパートの言語サービス

新聞記事からみた銀座

ブログ記事からみた銀座

あとがき

恒常的掲示物からみた銀座

フロアガイドの調査

■ 銀座一丁目から二丁目まで (国文学科2年 伊藤拓也)

■ 銀座三丁目から四丁目まで (国文学科2年 杵塚昂介)

■ 銀座五丁目から六丁目まで (国文学科2年 大竹裕治)

■ 銀座七丁目から八丁目まで (国文学科2年 後藤功貴)

PDF 調査マニュアル&チェックシート (PDF)

調査時間・場所

調査時間：11時~17時の間(店が開いており、店頭のライトが点いていない時間)

調査場所：銀座中央通りの店舗1階にあるフロアガイド

調査方法

- ① 銀座中央通りにある店舗の1階にあるフロアガイドを、全体が写る程度に接写したものと、どこにあるのかが分かる写真の二種類写真を撮る。
(銀座中央通りは広いので、なるべく多数で手分けをして調査をすることが望ましい。)
- ② 写真を撮ることのできない場合、
 1. 店舗名
 2. フロアガイドがある場所の具体的なメモ
 3. 表示されている言語
 4. ピクトグラムの有無(有る場合、何がピクトグラムになっているかを記載する。)
- ③ 帰宅し、撮った写真を整理する。ファイル名は「店名_接写_1」と「店名_配置場所_1」など二種類の写真をわかりやすいようにする。
- ④ 撮った写真やメモをもとに調査表を埋めていく。

調査表について

- 1フロアガイドにつき1つの調査表を用意し、撮った写真をもとに調査表と照らし合わせ、当てはまる項目にチェック、または記入をしていく。(記入方法は調査表に記載されている方法に従う。)
- 写真が撮れない場合は上記の調査方法をもとにメモをしておき、それをもとに調査表へ記入する。
- 当てはまらない場合はチェックしない。
- 調査票の項目内にある「外国語表記」は日本語に対応しているものに限定する。
- 調査票の項目内にある「ロゴ」とは、店名や固有名詞が規定のデザインやフォントに則って表記されているものを指すこととする。(ブランド名または店舗名)
- 調査票の項目内にある「メッセージ」とは、デザイン目的で言語が使用されているものを指すこととする。その言語を使用する国の人だけに向けてのメッセージではない言葉。(welcome、helloなど)

